

写真1 / 業界企業の事業内容は幅広い。学生にも魅力的なはずだ



写真2 / 再開発事業は電気が主役のスマートシティが軸になる



昨年度から引き続き《混乱》が就職活動に及ぼしている影響とは!? 新型コロナへの慣れは今年度・就活生たちをどのように変えたか①

取材・構成 / 本誌編集部

☆新型コロナ禍における就活生たちの混乱と希望

2020年春に突然顕在化した新型コロナウイルスによる感染症拡大の影響は、ご承知のように2020-2021年度の就活シーズンの様相を、例年度とはまったく異なるカタチに変えた。

さらに就職活動が毎年たけなわになる夏場に、前年に開催されるはずだった2020東京オリパラが開催されたこと（パラリンピックは開催中）による混乱は、現在進行形で進捗しつつある今年度（2021-2022年度）の就活シーズンに身を置く就活生たちの動向においても、影響がまったくないはずはない。

2020-2021年度・就活シーズンに比べれば、さまざま



写真3 / LEDがコントロールする野菜工場も続々建っている

な局面で「慣れ」が出てきたとはいえ、そういう意味において、新型コロナウイルスによる影響は2021-2022年度・就活シーズンにも引き続き濃厚に出ているといえるだろう。

このイレギュラーな就活シーンが、さらに今後数年間続くのかどうかは定かでない。だが一つだけ確実に言えそうなのは、新型コロナの騒動下、学校や就活生たちの「就職観」にちょっとした変化が出ているということだ。具体的には、これまで第2志望よりも下、すなわち第3志望、第4志望の位置に甘んじがちだった、「就職先としての独立系電気設備工事会社および電設資材商社の優先順位」に、多少の変動が現れつつあるということ。それは本誌編集部が昨年度から今年度の就活シーズンにおいて、大学・専門学校・職業訓練校の就職担当の先生方や学生の皆さんと、合同説明会の共催やアンケート調査、電話・メール取材、リモート取材などを通じて、幾度となく直に接することで覚えた正直な「実感」だ。

今回と次回のプチ特集では、そうした「実感」を、幾つかの角度から例証していきたい。

*

最初に大きく感じた変化は、昨年12月に本誌編集部が実施した「大学・専門学校・職業訓練校」へのアンケート調査の回答結果においてだった。

本誌では毎年4回、「週刊電業特報別冊・就活特集号」

*本文、後略